

令和8年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

八重山地域特有の森林整備に向けた取り組み vol.2

9月25日（金）

八重山農林水産振興センターでは、本地域特有の樹種を活用した八重山らしい森林の整備を目標の一つとして掲げており、ヤエヤマシタンを対象に令和8年6月・9月、石垣市平得県営林内の3つの調査地において森林調査を実施した。

【調査概要】

ヤエヤマシタンは、国内では石垣島のみで自生しているマメ科の植物で、以前は豊富な資源量があったものの、赤みがかった特有の色味や木目の美しさから乱伐が進み個体数が激減。現在では環境省の絶滅危惧IA類（CR）に指定される希少種である。当課では、これまで島内の個体から種子を採取し、育苗を行い、試験的に植栽を実施してきた。今後、沖縄県の造林樹種への指定に向けて、基礎的データの収集が必要となるため成長量調査を行った。

【試験地】

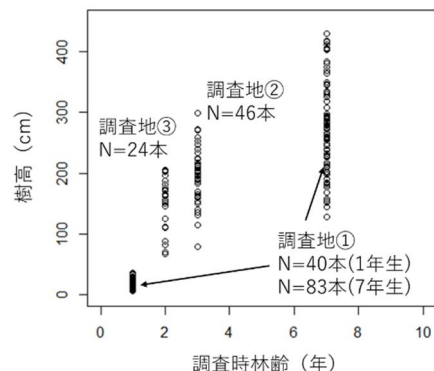
- ①令和2年度植栽地：植栽時（1年生）、令和8年度6月（7年生）のデータ
- ②令和6年度植栽地：令和8年度9月（3年生）のデータ
- ③令和7年度植栽地：令和8年度6月（2年生）のデータ

【調査結果】

右図のように、林齢が上昇するとともにばらつきは大きいものの順調に樹高が成長している様子が確認された。

なお、7年生の調査地については、混植したテリハボク等による被圧の影響により、成長が停滞している個体も複数確認された。

八重山地域としては、ヤエヤマシタンの造林を推進し、将来的に持続可能な利用が実現できるよう引き続き取り組みを図っていきたい。

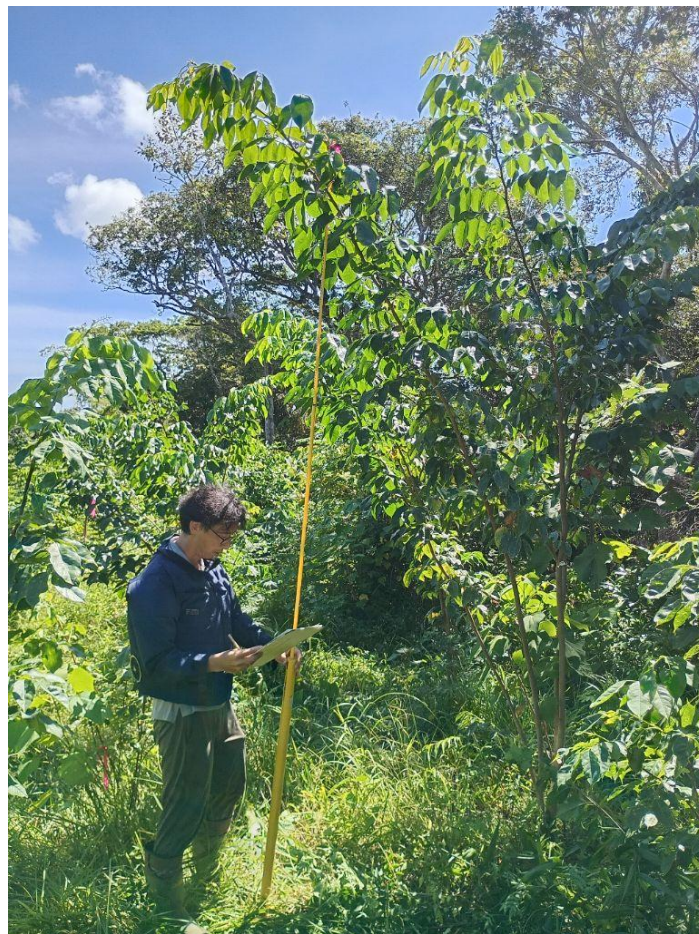


（報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川）

ヤエヤマシタン調査地 石垣市平得県営林



調査地①（7年生）



調査地②（3年生）



調査地③（2年生）